

刊夕 日六十二月四



日刊 日曜日  
郵税十五錢 二五錢  
廣告料一十錢 四十錢  
印刷料一十錢 四十錢  
發行所 石城郡平野町三丁目  
電話 二二二  
新刊 新刊社

常識講座

ボリチカル、デッドロ  
ツクと云ふのは政治的  
暗喩で動きのつれなく  
なつたことボリチカル  
は政治または政治、デ  
ットは死、ロツクは錠  
だ、軍縮會議のうまく  
行かぬを指す適切な語

国際事情の講演會

今日午後六時から平署で

既報日本國際協會本報支那主  
冊で石城郡教育會及び平野町  
聯合青年團後援の國際事情講  
演會は今日午後六時六時か  
ら平野町教育會に於て開演さ  
るので縣から末原學務部長並  
に今井社會課長も來平したが  
同講演は  
最近の世界情勢と日本の立  
場、國際協會の  
講師、赤松祐之氏  
建國に現はれたる國際精神  
國際協會理事  
講師、伯爵二荒芳徳氏  
兩氏であるが赤松氏は東大法  
科出身、外務省に入りて廣東

昨八年度に於ける

平野の貨物收入

前年に比し發送到着共に増加  
一萬四千六百圓の増収

平野の貨物收入が月毎に増加（九噸、到着一萬六千九百三十  
してゐることは豫報報載の五噸、收入一萬四千五百九十  
如くであるが同下集計中であ  
る八年度の成績は發送到着六  
萬一千八百八十五噸到着十  
六萬二千三百五十六噸で收  
入八萬六千七百四十七圓に達  
した之れを前年の  
發送到着五萬五千二百七十六噸  
到着十三萬五千四百二十一  
噸 收入七萬二千五百五十二  
圓二十七錢  
に比すれば發送到着六千六百

軍都見學

在軍分會と國防  
研究會の主催  
平野町軍人分會と同町國防  
研究會主催の軍都見學團は

既報の如く五月六日午前七  
時二十五分平野發で三泊三日  
間潮來の水郷から鹿島香取の  
神宮に詣で在らゆる若兵衛が  
完備されてゐる下志津、千葉  
習志野方面に於ける軍隊を見

差押物件を賣却

無鐵砲な積着者

野崎玉川村長から告訴

石城郡玉川村大字島嶼木一男  
（三）は村内に於て中以上の資  
産者であるが去る昭和五年以  
來村務を滞納してゐるので村  
役場から數次に亘つて納入を  
促したが依然納付せざるため  
滞納額百八十圓に對し強めて  
差押へをして置いた女米四十  
俵を賣却付したところ全部  
賣却されてゐるので村役場も  
同人の無鐵砲にあきれ返り野  
崎村長から封印差押物件  
の積領で告訴された

運送業者の總會

鐵道運輸業者に於ける赤井舞  
木間の運送業者總會は来る二  
十九日午前十時から平野町吉  
屋本店に於て開會、會を終つ  
て懇親會を催すと

自動車協會の幹

部會  
平野町下の自動車協會では明  
二十七日午後一時から同署會  
議室に於て協會の幹部會を開  
催する由

鳴物入の自動車で

結核豫防の宣傳

二百のポスターと五万枚のビラ  
平野では明二十七日の第七回  
結核豫防デーの準備中である  
が當日は管内各町村役場並に  
學校その他に三百枚のポスタ  
ーを掲げ同署からは午前十時  
四十分の自衛車で鳴物入の鳴  
入りを先導に平野町職員、醫

優良牝馬所有者

に獎勵金

石城郡馬産組合内に於ける  
優良牝馬所有者に對し農林  
省では獎勵金授與該當者を調

一日の道路愛護デー

愛護作業を殊に獎勵

平野町警署所では来る五月一  
日の道路愛護デーに於て管内  
全部に亘る大宣傳を行ふ旨で  
あるが當日は石城郡内の愛護  
會を始め各團體に道路の愛護  
精神を喚起せしめるため町村  
當局と愛護作業の實行方法並  
に宣傳方を協力小學校に於け  
る右の訓話からポスター及び  
ビラの配布並に交通頻繁の街  
頭に宣傳標を張らぬいた標を  
張り自動車その他馬車の類  
にも小旗或は宣傳標を廻らす  
等小學校、青年團、消防組に  
於ける記念日當日の愛護作業  
を殊に獎勵すると

石城産馬の

牝馬健診

石城産馬組合では来る五月三  
日から今井技手により繁殖牝  
馬の健康診断を行はれるが日  
の道路愛護デーに於て管内  
全部に亘る大宣傳を行ふ旨で  
あるが當日は石城郡内の愛護  
會を始め各團體に道路の愛護  
精神を喚起せしめるため町村  
當局と愛護作業の實行方法並  
に宣傳方を協力小學校に於け  
る右の訓話からポスター及び  
ビラの配布並に交通頻繁の街  
頭に宣傳標を張らぬいた標を  
張り自動車その他馬車の類  
にも小旗或は宣傳標を廻らす  
等小學校、青年團、消防組に  
於ける記念日當日の愛護作業  
を殊に獎勵すると

豚コレラと丹毒

石城郡では昨年の豚コレラ流  
行で養豚を全滅させられたが  
縣では同被害未然防止のため  
来る五月二日から左記日割で  
コレラ及び豚丹毒豫防の健康  
診断を行はれるが日  
の道路愛護デーに於て管内  
全部に亘る大宣傳を行ふ旨で  
あるが當日は石城郡内の愛護  
會を始め各團體に道路の愛護  
精神を喚起せしめるため町村  
當局と愛護作業の實行方法並  
に宣傳方を協力小學校に於け  
る右の訓話からポスター及び  
ビラの配布並に交通頻繁の街  
頭に宣傳標を張らぬいた標を  
張り自動車その他馬車の類  
にも小旗或は宣傳標を廻らす  
等小學校、青年團、消防組に  
於ける記念日當日の愛護作業  
を殊に獎勵すると

鮮魚トラツク河

石城郡小名濱町海岸軌道會社  
運轉手志賀榮吉（三）は本月一  
九日午後七時トラツク河に鮮  
魚を満載して江名町の作か  
のなき事を認めてゐる、最近  
の鮮魚問題の端緒なるべき川  
族のみ死に上流の魚族が生  
存なし居る事は實證に値し得  
るものである、上述の理由を  
以てなすならば問題を問題と  
して所謂思想的煽動分子の存  
在が何れかあるを疑はざる  
を得ない、以て此問題の主義  
問題は完全に解決し得られる  
ものなり、不肖鈴木一男は其  
の責をうけて試作する勞を厭  
はざるものである、

社告

新しい新聞社

明二十七日日誌國神社の臨  
時大祭に付休刊致します、  
新しい新聞社

浮浪女の空巢ね

石城郡内に於て住所無業共に  
不定で以て日を送つてゐた東  
京生れ吉田吉（三）は去る二  
十三日正午同郡内郷村の宮  
原芳雄方の不在に忍び衣類七  
點價二十餘圓を奪取せる外數  
件の空巢ねらひをしてゐたが  
昨二十五日車動不審で平野に  
檢査取調の結果を自白し  
たが尙ほ偽罪を認めざるもの、如く  
である

内郷村の賭博

石城郡内郷村の宮原竹の内七  
三賭博前科二犯渡邊勝（三）  
方に於て今二十六日午前一時  
頃同内外七名が賭博開帳中平  
野署員に探知檢査された  
内郷村宮原龍雄貨商小畑盛  
（三）同村竹の内渡邊勝（三）  
渡邊三郎（三）同宮原竹の内  
大友藤傳之助（三）同鈴木武  
雄（三）同高木高徳（三）同木  
田勇三郎（三）同地島尾形政  
治（三）以上

獵友會評議員會

平野管内に於ける獵友會では  
明二十七日午前十時から同署  
會議室に評議員會を開くと

浮浪女の空巢ね

石城郡内に於て住所無業共に  
不定で以て日を送つてゐた東  
京生れ吉田吉（三）は去る二  
十三日正午同郡内郷村の宮  
原芳雄方の不在に忍び衣類七  
點價二十餘圓を奪取せる外數  
件の空巢ねらひをしてゐたが  
昨二十五日車動不審で平野に  
檢査取調の結果を自白し  
たが尙ほ偽罪を認めざるもの、如く  
である

花合戦に御用

石城郡内郷村の白木宇瀨井  
居住坊主鈴木今朝吉（三）方  
に於て昨二十五日午後九時頃同  
内外二名が現金賭博の花合戦中  
平野署員に踏込まれて檢査目下  
取調中である

社告

新しい新聞社

明二十七日日誌國神社の臨  
時大祭に付休刊致します、  
新しい新聞社

